



神崎市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の影響により、世界各地で異常気象や海面上昇が観測され、私たちの暮らしにも大きな影響を与えています。

神崎市においても、頻発する台風や集中豪雨など、過去に経験のない自然災害に見舞われる機会が増え、気候変動への対応は喫緊の課題となっています。

地球温暖化対策として、2015年に採択されたパリ協定では「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2℃未満に抑え、1.5℃に抑える努力を追求すること」が定められました。

また、2018年のIPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)「1.5℃特別報告書」では、2050年までに世界全体の二酸化炭素排出量を実質ゼロとする必要性が示され、日本政府も2020年に「2050年カーボンニュートラル」の実現を宣言しています。

神崎市は、豊かな自然と歴史に育まれたまちとして、持続可能な未来を次の世代に引き継ぐ責任があります。

このため、市民、事業者及び行政が一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ神崎」を目指すことを、ここに宣言します。

令和7年8月1日



神崎市長 實松尊徳